

作業補足シート

3 : 3 3

分野	端末処理	作業名	Cat.6 モジュラジャックの成端
目的	Cat.6 モジュラジャックの成端を行う。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. ケーブル被覆をカット	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル外皮をカットする位置を軽くもんでおくと外皮と内側の心線が分離し、カットする際に心線に傷が入りにくくなる。 ケーブルストリッパでケーブル外被を先端から約 40mm の位置で除去する。 		0 : 2 2
2. 十字介在をカット	<ul style="list-style-type: none"> 心線を傷付けないように注意してニッパーで切れ込みを入れ除去する。 		0 : 4 7
3. 整線キャップの挿入	<ul style="list-style-type: none"> 心線をまとめ整線キャップに通す。 整線キャップの結線ラベルと心線の色を意識して通すと後の作業がしやすくなる。 		1 : 1 0
4. 結線ラベルに従い心線を溝にはめる	<ul style="list-style-type: none"> 結線ラベルの色に従って合わせて心線を溝にはめる。 溝に入れた部分から先は除去するので、心線をまっすぐにする必要はない。溝にはまる程度に撚りを解くだけで、極力より戻しは短くする。(クロストークの原因となるため) 		1 : 2 6
5. 余分な心線をカット	<ul style="list-style-type: none"> 除去した心線が飛ばないように心線を抑えながら切る。 整線キャップの端から心線がはみ出さないようにする。 		1 : 4 0
6. 製線キャップと本体を仮留め	<ul style="list-style-type: none"> 整線キャップとプラグ本体のラベルを合わせ、手を放しても落ちない程度に押し込む (仮留め)。 		2 : 2 2
7. 成端工具で勘合	<ul style="list-style-type: none"> 仮留めしたプラグを成端工具に乗せ、テコの原理を利用して隙間なく嵌合する。 		2 : 4 0
8. 本体をケースに収納	<ul style="list-style-type: none"> ケースに収納するときは、ジャック上部から引っ掛けるようにはめ込む。 		2 : 5 7
9. ケースの蓋を外す	<ul style="list-style-type: none"> ケースを外す場合、側面にある隙間にマイナスドライバーを差し込み、テコの原理を利用して外す。 		3 : 0 3
使用器具	ニッパー、ケーブルストリッパ (日本製線 NSWST-M)、成端工具 (日本製線 NSTOOLB)		
使用材料	モジュラジャック (日本製線 SHBOX1-6KIT)、Cat.6 UTP ケーブル		
最終更新日	2022/03/07		